

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

1. 次の取引について仕訳しなさい。(復習問題)

〔固定資産の購入〕

- (1) 店舗拡張のため、土地 200 m²を 1 m²につき ￥15,000 で購入し、登記料 ￥52,000 および仲介手数料 ￥63,000 とともに、代金は小切手を振り出して支払った。
- (2) 備品 ￥500,000 を購入し、代金のうち ￥200,000 は、小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うことにした。なお、備品の引取運賃 ￥60,000 と据付費 ￥25,000 は、現金で支払った。
- (3) オフィス機器 ￥400,000 と事務用消耗品 ￥50,000 を購入した。代金のうち ￥250,000 は、小切手を振り出して支払い、残額が翌月末からの 5 回払いとした。なお、消耗品は購入時に資産処理している。

〔固定資産の売却〕

- (4) 不要となった備品（取得原価 ￥300,000、減価償却累計額 ￥189,000、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 ￥60,000 は後日に受け取ることにした。
- (5) 備品（取得原価 ￥700,000、減価償却の累計額 ￥504,000）を ￥300,000 で売却し、代金を小切手で受け取った。なお、減価償却は直接法により処理されているものとする。
- (6) 営業用の自動車（取得原価 ￥1,250,000 残存価額 取得原価の 10%、耐用年数 5 年）を 4 年間使用し、すでに 4 期（決算 年 1 回）にわたって減価償却をしてきたが、この自動車を ￥250,000 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。ただし、減価償却費の計算は定額法、記帳は間接法を用いている。

〔給料の支払い〕

- (7) 従業員に対する今月分の給料 ￥230,000 の支払いにさいし、かねて従業員の生命保険料として立て替え払いしていた金額 ￥25,000 を差し引き、残額は現金で支払った。
- (8) 従業員への給料の支払いにあたって、給料総額 ￥310,000 のうち、先に立替払いしていた従業員の生命保険料 ￥15,000 と、所得税の源泉徴収分 ￥20,000 を差し引き、残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座へ振り込んだ。
- (9) 今月の給料支給総額 ￥3,120,000 から、従業員に対する貸付金の返済額 ￥100,000 およびその利息 ￥8,000 を差し引き、手取り金を当座預金口座から振り込んだ。

〔内容不明の入金〕

- (10) 取引先八王子商店より当座預金口座に ￥70,000 の入金があったが、その内容は不明である。
- (11) 得意先文京商店から商品 ￥500,000 の注文を受け、本日同商店から当座預金口座に ￥60,000 の振込みがあった。この振込額のうち、￥40,000 については、注文品の内金であるが、残額については原因不明のため、現在同店に対して問い合わせ中である。
- (12) 先月仮受金として処理していた内容不明の当座入金額は、高尾商店から注文を受けたさいの手付金の受取額 ￥70,000 と茗荷谷商店に対する掛代金の回収額 ￥30,000 であることが判明した。

〔現金の過不足〕

- (13) 従業員が立て替えていた電車賃 ￥500 を現金で支払っていたが、未記帳であることが判明した。なお、昨日、週 1 回の現金実査を行い、現金過不足勘定の借方に ￥700 の記入を行っている。雑損または雑益への振り替えは、決算日に行うこととしている。

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

(14) 現金の実際残高が帳簿残高より多かったため、現金過不足勘定で処理されていた ¥12,600 のうち、¥6,500 は受取手数料の記入漏れであることが決算日にいたり判明した。残高については不明のため、適当な科目に振り替えることにした。

(15) 現金の実際有高が帳簿残高より ¥20,000 不足していたため、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、その原因を調査したところ、通信費 ¥25,000 が記入漏れであること、ならびに保険料の支払額 ¥89,000 を ¥98,000 と誤記入していたことが判明した。なお、残額については原因不明のため、雑損または雑益として処理することとした。

〔小口現金〕

(16) 小口現金係から、旅費交通費 ¥56,000、消耗品費 ¥91,000 および雑費 ¥27,000 の小口現金の使用について報告を受け、同額の小切手を振り出して補給した。なお、当店は、小口現金について定額資金前渡制度を採用している。

(17) 小口現金係から、次のように支払の報告を受けたため、ただに小切手を振り出して資金を補給した。なお、当店は定額資金前渡制度（インプレスト・システム）により、小口現金係から毎週金曜日に一週間の支払報告を受け、これにもとづいて資金を補給している。

通信費	¥7,200	消耗品費	¥5,810	雑費	¥620
-----	--------	------	--------	----	------

(18) 月末に、会計係は、小口現金係から本月分の小口現金の支払高について、次のとおり報告を受けたので、ただちに、小切手を振り出して資金の補給をした。

ただし、定額資金前渡法を採用している。

通信費	¥42,000	消耗品費	¥21,400
-----	---------	------	---------

〔商品券と他店商品券〕

(19) 商品 ¥70,000 を売り渡し、代金のうち ¥30,000 は当店発行の商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。

(20) 商品券の精算をするため、当店は保有している他店商品券 ¥150,000 と、他店の保有している当店発行の商品券 ¥170,000 とを交換し、差額については現金で決済した。

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

2. 次の取引について仕訳しなさい。(日商3級過去問)

- (1) 栃木商店へ商品 ￥500,000 を売り渡し、代金のうち ￥300,000 については、かねて本店が群馬商店を受取人、茨城商店を名宛人として振り出した為替手形を裏書譲渡され、残額については月末に受け取ることにした。なお、栃木商店負担の発送運賃 ￥5,000 については小切手を振り出して立替払いした。
- (2) 営業用の建物を ￥4,500,000 で購入し、代金は当月末に支払うこととした。なお、仲介手数料 ￥120,000 については、小切手を振り出して支払った。
- (3) 前月末に得意先より ￥200,000 が当座預金に振り込まれ、その内容が不明であったため仮受金として処理していたが、本日得意先から連絡が入り、その内訳が売掛金の回収額 ￥150,000 と注文を受けた商品 ￥500,000 に対する内金 ￥50,000 であることが判明した。
- (4) 前期に生じた売掛金 ￥250,000 が得意先の倒産により回収できなくなったため、貸倒れとして処理する。なお、貸倒引当金の残高は ￥210,000 である。
- (5) 当期中に売買目的で取得した札幌通信株式会社株式 5,000 株（1 株当たり購入単価：￥960、その他に購入時に証券会社へ支払った手数料は総額で ￥25,000）のうち、3,000 株を 1 株につき ￥963 で売却し、代金は月末に受け取ることにした。
- (6) 決算にあたり、現金の手許有高を調べたところ、帳簿残高は ￥280,000 であるのに対して、実際有高は ￥275,000 であった。この現金不足額のうち ￥3,300 は、従業員個人が負担すべき交通費を店の現金で肩代わりして支払った取引が未記帳であったためであると判明したが、残りの現金不足額の原因は不明である。
- (7) 商品 ￥120,000 を仕入れ、代金のうち ￥100,000 については、売掛金のある得意先を名宛人とする為替手形を振り出し、得意先の引受を得て渡し、残額は掛けとした。
- (8) 前期に貸倒れとして処理した売掛金 ￥80,000 のうち、￥60,000 が回収され、当座預金の口座に振り込まれた。なお、貸倒引当金勘定の残高は ￥40,000 である。
- (9) 給料日に、従業員に対する給料から所得税の源泉徴収額 ￥20,000 を差し引き、手取金 ￥180,000 を当座預金の口座から振り替えて従業員に支払った。
- (10) 水道光熱費 ￥50,000 と事業主の所得税 ￥210,000 を当座預金の口座から振り替えて支払った。なお、水道光熱費のうち ￥20,000 は、事業主個人の家計が負担すべき金額である。
- (11) 当期首に売買目的のため 1 株 ￥650 で購入した東北産業株式会社の株式 5,000 株のうち、3,000 株を 1 株 ￥610 で売却し、代金は当座預金口座に振り込まれた。
- (12) 備品 ￥200,000 を柏商店より購入し、代金のうち ￥40,000 は小切手を振り出して支払い、残額については毎月末の 4 回分割払いとした。
- (13) 前期の決算整理にともない計上した未収利息 ￥18,000 につき、当期首に再振替仕訳を行った。
- (14) 事務用文房具を浦和商店より購入し、代金 ￥50,000 は現金で支払った。なお、本店では文房具については決算時に棚卸を行い、当期の使用額を費用に振り替える方法をとっている。
- (15) 商品 ￥50,000 を売り上げ、代金のうち ￥30,000 は本店発行の商品券で、残額は現金で受け取った。
- (16) 以前に売上代金の一部として受け取っていた得意先振り出しの約束手形 ￥15,000 を取引銀行で割引き、割引料 ￥300 を差し引かれた手取金は当座預金とした。
- (17) 売買を目的として、他社が発行する株式 1,000 株を 1 株当たり ￥60 で買い入れ、代金は証券会社に対する売買手数料 ￥1,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- (18) 約束手形を振り出して ￥200,000 を借り入れ、その金額が当座預金の口座に振り込まれた。
- (19) 従業員が出張から戻ったので、旅費の精算を行い、残金 ￥13,000 を現金で受け取り、直ちに当座預金に預け入れた。

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

なお、従業員に対しては、出張にあたり、旅費の概算額 ￥80,000 を手渡していた。

(20) 以前に購入していた土地（購入価格 ￥520,000、購入手数料 ￥12,000）を ￥550,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。

(21) 関東商店から商品 ￥80,000 を仕入れ、代金のうち ￥50,000 は、かねて受け取っていた関西商店振出しの約束手形を裏書譲渡し、残金は掛けとした。

(22) 商品 ￥60,000 を売り出し、代金のうち ￥40,000 は、当店と連盟している北海道商店の商品券で受け取り、残額は当店発行の商品券で受け取った。

(23) 期首に備品（取得原価 ￥300,000、減価償却累計額 ￥162,000、間接法で記帳）を ￥130,000 で売却し、代金は後日受け取ることにした。

(24) 九州商店に対して商品 ￥30,000 を注文し、手付金として ￥10,000 の小切手を振り出して渡した。

(25) 得意先が倒産し、前期から繰り越された売掛金 ￥40,000 が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残額は ￥30,000 である。

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

1.

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

(14)		
(15)		
(16)		
(17)		
(18)		
(19)		
(20)		

テーマ	総復習 II
-----	--------

2.

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		
(9)		
(10)		
(11)		
(12)		
(13)		

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

(14)		
(15)		
(16)		
(17)		
(18)		
(19)		
(20)		
(21)		
(22)		
(23)		
(24)		
(25)		

テーマ	総復習 II
-----	--------

1.

	借方	貸方
(1)	土地 3,115,000	当座預金 3,115,000
(2)	備品 585,000	当座預金 200,000 未払金 300,000 現金 85,000
(3)	備品 400,000 消耗品 50,000	当座預金 250,000 未払金 200,000
(4)	備品減価償却累計額 189,000 未収金 60,000 固定資産売却損 51,000	備品 300,000
(5)	現金 300,000	備品 196,000 固定資産売却益 104,000
(6)	車両減価償却累計額 900,000 未収金 250,000 固定資産売却損 100,000	車両 1,250,000
(7)	給料 230,000	従業員立替金(立替金) 25,000 現金 205,000
(8)	給料 310,000	従業員立替金(立替金) 15,000 従業員預り金(預り金) 20,000 当座預金 275,000
(9)	給料 3,120,000	従業員貸付金(貸付金) 100,000 受取利息 8,000 当座預金 3,012,000
(10)	当座預金 70,000	仮受金 70,000
(11)	当座預金 60,000	前受金 40,000 仮受金 20,000
(12)	仮受金 100,000	前受金 70,000 売掛金 30,000
(13)	旅費交通費 500	現金過不足 500

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

(14)	現金過不足 12,600	受取手数料 雑益 6,500 6,100
(15)	通信費 雑損 25,000 4,000	現金過不足 支払保険料 20,000 9,000
(16)	旅費交通費 消耗品費 雑費 56,000 91,000 27,000	当座預金 174,000
(17)	通信費 消耗品費 雑費 7,200 5,810 620	当座預金 13,630
(18)	通信費 消耗品費 42,000 21,400	当座預金 63,400
(19)	商品券 現金 30,000 40,000	売上 70,000
(20)	商品券 170,000	他店商品券 現金 150,000 20,000

テーマ	総復習Ⅱ
-----	------

2.

	借方	貸方
(1)	受取手形 300,000 売掛金 205,000	売上 500,000 当座預金 5,000
(2)	建物 4,620,000	未払金 4,500,000 当座預金 120,000
(3)	仮受金 200,000	売掛金 150,000 前受金 50,000
(4)	貸倒引当金 210,000 貸倒損失 40,000	売掛金 250,000
(5)	未収金 2,889,000 有価証券売却損 6,000	売買目的有価証券 2,895,000
(6)	従業員立替金 3,300 雑損 1,700	現金 5,000
(7)	仕入 120,000	売掛金 100,000 買掛金 20,000
(8)	当座預金 60,000	償却債権取立益 60,000
(9)	給料 200,000	所得税預り金 20,000 当座預金 180,000
(10)	水道光熱費 30,000 引出金 230,000	当座預金 260,000
(11)	当座預金 1,830,000 有価証券売却損 120,000	売買目的有価証券 1,950,000
(12)	備品 200,000	当座預金 40,000 未払金 160,000
(13)	受取利息 18,000	未収利息 18,000

テーマ	総復習Ⅱ		
-----	------	--	--

(14)	消耗品	50,000	現金	50,000
(15)	商品券 現金	30,000 20,000	売上	50,000
(16)	当座預金 手形売却損	14,700 300	受取手形	15,000
(17)	売買目的有価証券	61,000	当座預金	61,000
(18)	当座預金	200,000	手形借入金	200,000
(19)	当座預金 旅費交通費	13,000 67,000	仮払金	80,000
(20)	未収金	550,000	土地 固定資産売却益	532,000 18,000
(21)	仕入	80,000	受取手形 買掛金	50,000 30,000
(22)	他店商品券 商品券	40,000 20,000	売上	60,000
(23)	備品減価償却累計額 未収金 固定資産売却損	162,000 130,000 8,000	備品	300,000
(24)	前払金	10,000	当座預金	10,000
(25)	貸倒引当金 貸倒損失	30,000 10,000	売掛金	40,000